

省エネ、効率化へ助成

中規模農家を支援

静岡県が来年度創設

【静岡】県は2023年度当初予算案で、中規模農家を支援する「持続的農業経営支援事業費助成」を創設した。県単独事業で1億円を措置した。省エネルギー化や生産の効率化など、持続可能な開発目標（SDGs）に資する施設、機械などの整備を補助する。

同県ではこれまで、売り上げ5000万円以上のビジネス経営体の育成に力を入れていたが、同県農業の持続的な発展には、農業経営の維持や発展を目指す、中規模農家への支援が必要だとしている。補助対象者は、認定農業者、認定新規就農

者で、大規模経営体は除く。補助率は3分の1以内。上限額は、農業施設が1平方メートルあたり7000円、施設付帯設備が300万円、農機が200万円。支援策は①省エネルギー化②生産効率化③

環境負荷軽減・環境調和の三つに区分。持続的な経営に資する農業用施設、施設付帯設備、農機の更新・改修を対象にする。

具体的には、暖房効率が良いヒートポンプへの更新、メロン温室のガラスの更新やアルミベットの導入、土耕のイチゴ栽培から作業効率が良い高設ベッドへの転換、可変施肥田植え機や木質ペレットボイラーの購入などを挙げている。